

図書館活用術 新訂第4版

一検索の基本は図書館に

藤田 節子 著 A5・230頁 定価(本体2,700円+税) ISBN978-4-8169-2815-4 2020年2月刊行

信頼性が高く、体系的で永続性のある情報を
獲得する能力を磨く！

- インターネット検索だけではない、情報検索能力を身につける場として図書館活用を提案。『図書館活用術 新訂第3版—情報リテラシーを身につけるために』(2011.8刊)の最新改訂版です。
- インターネット利用に偏っている検索方法に対し、図書館で入手できる情報資源の有用性、信頼性について記述。豊富な図表、参照・注記、用語解説・参考資料により、専門知識のない読者にもわかりやすく解説しています。
- 語句だけでなく、概念からも引ける「索引」付き。

著者プロフィール 藤田 節子 ふじた・せつこ

東洋大学社会学部図書館学専攻卒業。(財)造船資料センター、(株)エレクトロニック・ライブラリー、川村学園女子大学教授等を経て、現在フリーランス・ライブラリアン、久遠索引工房代表。

著書に『レポート・論文作成のための引用・参考文献の書き方』『データベース設計入門』『レポート作成法(共著)』(日外アソシエーツ)『本の索引の作り方』(地人書館)『自分でできる情報探索』『キーワード検索がわかる』(ちくま新書)『情報管理・検索に活かすインデックスのテクニック』(共立出版)他多数。

目次

概論編

- 第1章 どんな図書館を利用できるか
- 第2章 図書館を歩いてみよう
- 第3章 図書館には何があるか
- 第4章 どんなサービスを受けられるのか

活用編

- 第5章 図書館員への相談
- 第6章 OPACのしくみと探し方
- 第7章 キーワードをうまく見つけるには
- 第8章 書誌事項の書き方と見方
- 第9章 レファレンス資料の使い方
- 第10章 情報検索のしかた

付録Ⅰ もっと知りたい人のために

付録Ⅱ 用語解説

索引

■既刊

レポート・論文作成のための
引用・参考文献の書き方

藤田節子著 A5・160頁 定価(本体2,000円+税)
ISBN978-4-8169-2179-7 2009.4刊

図書館の機能(「はじめに」より)

図書館は、情報と利用者を結ぶ仲介機関です。情報の情報源は、つまるところ人間であり、利用者は人間ですから、言い換えれば、図書館は人と人とを結ぶコミュニケーションの一機関といえます。人が発信した情報は、インターネットはもちろんですが、会話や画像、映像、音楽、本、雑誌など、さまざまな媒体に載せられて、利用者届けられます。情報には、小説や音楽などの楽しみのための情報も、データや事実などの問題や行動を判断するための情報も両方含んでいます。図書館は、利用者が求めるこれらの情報を、迅速かつ的確に提供する役割を担っています。

したがって、図書館には、ネット情報を含めて、たくさんの種類の情報や資料が収集され、整理・保存されていま

す。それらの情報のほとんどは、著者名が明記され、いつの情報かが記載され、保存蓄積されていますので、原則的に図書館からなくなることはありません。

さらに、図書館には、蓄積している情報を探するための所蔵目録や、事典や辞書、年鑑、データベースなどのレファレンス資料が豊富にあります。レファレンス資料は、探したい情報を体系的に簡潔に入手するのに役立ちます。そしてなにより、そうした情報の探し方や整理のしかたに精通した情報の専門家である図書館員がいて、情報に関するサービスを提供し調査の支援をしてくれます。

インターネットを探すのもいいのですが、インターネットだけでなく、図書館で情報を探することで、より正確で適切な情報を得ることができます。

第3章 図書館には何があるか

(1) 図書館の3大資源

図書館には、三つの大きな資源があります。それは、「図書館員」、図書や雑誌・新聞などの「資料」、そして所蔵目録や事典など「情報を探すための道具」です。この3つの資源を有効に活用することによって、あなたは効果的に図書館を利用することができます(図3.1参照)。「資料」や「情報を探すための道具」には紙媒体だけでなく、インターネット情報や電子書籍などのデジタル媒体も含まれます。

図書や雑誌・新聞などのオリジナルの資料を特に一次資料といいます。それに対して、その一次資料を探すための道具を二次資料といいます。二次資料は、一次資料を探し出すために作成された道具です。

図書館にいくと、普通は、まず書架で直接欲しい図書や雑誌(一次資料)を探します。それもひとつの情報の探し方ですが、その方法でうまく見つからなかったときには、情報を探すための道具である所蔵目録や事典などの二次資料が力を発揮し、情報専門家である図書館員があなた



図3.1 図書館の3大資源

司書課程を学ぶ学生の
テキストとして
図書館で働く職員、情報サービスの従事者
図書館を利用している人たちへ
お薦めします

『図書館活用術 新訂第4版—検索の基本は図書館に』
内容見本

(2) 図書館員とは

図書館員とは、図書館情報学(→p.12注)を学び、その分野の情報に詳しい情報の専門家です。司書ともいいます。

あなたからみると、図書館では、カウンターや書架に、ごく少数の人が働いているだけに見えるかも知れません。しかし、図書館員は、あなたの見えないところで、図書館のさまざまな業務をおこなっています。

図書館員は、利用者への的確で迅速な情報サービスができるように、情報源の探索、情報の収集、評価、整理、提供サービス業務を行い、図書館の管理・運営を図っています(図3.2参照)。

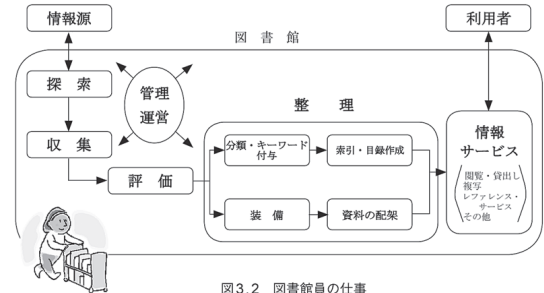


図3.2 図書館員の仕事

活用編

(4) キーワードを見つけるコツ

実際には、キーワードのルールやリストをじっくり読んでから始めるのは、なかなか面倒だと思います。

そこで、キーワードを見つける、一般的な「コツ」をお話します。

b. 略語は正式名称に、正式名称は略語に

略語は、正式な語に直してみてください。たとえば、「デジカメ」は「デジタルカメラ」、「NHK」は、「日本放送協会」といった具合です。逆に略語の方がキーワードになっている場合もあります。たとえば、「欧州連合」ではなく、「EU」のほうがキーワードになっている場合もあるかも知れません。


c. より狭い概念やより広い概念のことは探す

広い概念のことは探して見つからない場合は、よりテーマに特定したより狭い概念のことは探してください。逆にあまりに特定したことで探してなかったら、より広い概念のことは探してください。

たとえば、「ワイン」のことを探したいなら、広い概念の「酒」というキーワードで探してはいけません。まず、特定の狭い概念のことは「ワイン」を探します。

お問い合わせは… **日外アソシエーツ 営業局**

TEL.03-3763-5241(代) FAX.03-3764-0845
〒140-0013 東京都品川区南大井6-16-16 <http://www.nichigai.co.jp/>

注文書	<p>■貴店名</p>	<p>図書館活用術 新訂第4版 —検索の基本は図書館に</p> <p>定価(本体2,700円+税) ISBN978-4-8169-2815-4</p>	冊
	 9784816928154		